

(第42号)

昭和32年5月10日発行

編：福井県勝山市役所
集：給務課



5月1日~31日

日本赤十字社員募集
御協力を

電気料値上げには反対!!!

緊急市議会で決議

市議会では去る五月十日午後二時より、市役所において「市庁舎建設の位置」などの件について全員協議会を開催しました。

始めに今大きな社会問題になつてゐる北陸電力株式会社「電気料金値上げ」案をとりあげて検討したところ、同案は本市産業界はもちろん、市民生活に及ぼす影響は甚大であるとし、ただちに全員協議会を本会議に切替へ、電力料金値上げ案に反対の決議をして、早速田島北信越中議長會電力委員長ほか関係者にこの旨を打電しました。

勝山市議会は市民大衆の意志により電力料金の値上案反対の決議をした御尽力を乞う

なお全員協議会において、新庁舎の位置は勝山公民館附近に建設することとし庁舎の方向などについてはいろいろ協議を重ねましたが一応仮設計のできあがりを持つて再検討することに決めました。

新区長決る!

御協力下さい

- ◆勝山町 二十四名
下元祿二区今井尚英
岡二区山野登与志
上元祿山崎登与志
立石川高須甚七
立川久保長七
郡袋田佐々木定治
上袋田勝浦義雄
下袋田中川勇隆
中梅村末吉
上梅田清一
中八田一
下八田一
上長淵前田藤三

◆平泉寺町 十三名

- 下長淵細野茂八
富田川上善右門
沢野柳原藤左エ門
芳野松田佐助
上野桃木善五郎
片野中村善一郎
猪野三原忠門
猪野三原忠門
毛野三原忠門
高野三原忠門
西野三原忠門
若猪野三原忠門

◆岡横江長谷川幸兵衛

- 赤尾松田幸兵衛

◆大矢谷内宮吉

- 大矢谷内宮吉

◆小矢谷内宮吉

- 小矢谷内宮吉

◆神野船口内宮吉

- 神野船口内宮吉

◆池ヶ原織田善五郎

- 池ヶ原織田善五郎

◆滝波内宮文太夫

- 滝波内宮文太夫

◆村岡町 十一名

- 藤内宮文太夫

◆浮士寺中村三之助

- 浮士寺中村三之助

◆寺尾村岸松く

- 寺尾村岸松く

◆新神谷村伊松く

- 新神谷村伊松く

◆猿倉村伊松く

- 猿倉村伊松く

◆三本寺竹内武重

- 三本寺竹内武重

◆五本寺竹内武重

- 五本寺竹内武重

◆黒原竹内武重

- 黒原竹内武重

◆北谷町 八名

- 中尾山崎市水

◆野向町 八名

- 竹内宮吉

- 深谷岩隆三郎
- 龍丸藤寛三郎
- 竹林南静一
- 龍丸藤寛三郎
- 野向町八名
- 杉山岡吉藏
- 中野山岡吉藏
- 谷野岸昭典
- 小原横山三右門
- 木根橋中石橋弥市
- 河合齋藤弥市
- 北六呂師結川五郎右門
- 中尾山崎市水

◆荒土町 十八名

- 松田後下佐義

◆北新在家本多

- 北新在家本多

◆北宮地川久蔵

- 北宮地川久蔵

◆細野下川久蔵

- 細野下川久蔵

◆戸倉島田内多

- 戸倉島田内多

◆伊波石塚新太郎

- 伊波石塚新太郎

◆妙金島田治郎兵衛

- 妙金島田治郎兵衛

◆松ヶ崎田治郎兵衛

- 松ヶ崎田治郎兵衛

◆新保村竹松

- 新保村竹松

◆別所島田忠義

- 別所島田忠義

◆北郷町 十一名

- 西妙金島田甚四郎

◆檜曾谷田彦左五郎

- 檜曾谷田彦左五郎

◆新原小平井彦五郎

- 新原小平井彦五郎

◆志原中林信次

- 志原中林信次

◆下川村川次

- 下川村川次

◆森川村川次

- 森川村川次

◆東野村川次

- 東野村川次

◆伊地川村川次

- 伊地川村川次

◆坂東川村川次

- 坂東川村川次

◆上野村川次

- 上野村川次

◆岩屋前田甚右門

- 岩屋前田甚右門

◆保田牧野与雄

- 保田牧野与雄

◆西光寺内喜太夫

- 西光寺内喜太夫

◆北西口内喜太夫

- 北西口内喜太夫

◆矢野口内喜太夫

- 矢野口内喜太夫

◆本郷内三之助

- 本郷内三之助

◆西郷内三之助

- 西郷内三之助

◆東郷内三之助

- 東郷内三之助

◆志田瓜田三之助

- 志田瓜田三之助

◆出村田英一

- 出村田英一

◆下荒井早川繁治

- 下荒井早川繁治

◆大袋水早川繁治

- 大袋水早川繁治

◆新道酒井仲榮

- 新道酒井仲榮

◆北山酒井仲榮

- 北山酒井仲榮

◆中島酒井仲榮

- 中島酒井仲榮

◆千代田酒井仲榮

- 千代田酒井仲榮

◆比島酒井仲榮

- 比島酒井仲榮

春の消防演習行わる

婦人消防隊も参加!!

今を去る六十一年前の勝山大火の口にもなんで、去る四月十三日午前八時から恒例の春季消防演習が盛大に行われました。

花袋りのこの日、朝八時のサイレンの合図に四百余名の団員等が西校々庭に整列、次いで精練会社前大通りで、よりしいラッパ吹奏の中に威風堂々の十四機動部隊と徒歩部隊の閲閲式を行つた後、注目の横倉婦人消防隊のあざやかな操法訓練が公開され、並居る市民の喝采を浴びました。

それから北郷校、西校の両地で模擬火災演習が威勢よく行われ、一同再び西校々庭に集つて、次のように表彰式をあげ、最後にお馴染みのヘシリヤンコでその幕を閉じました。

表彰状並に感謝状を受けたものは次のとおりです。

◆十五年以上の 永年勤続者の表彰

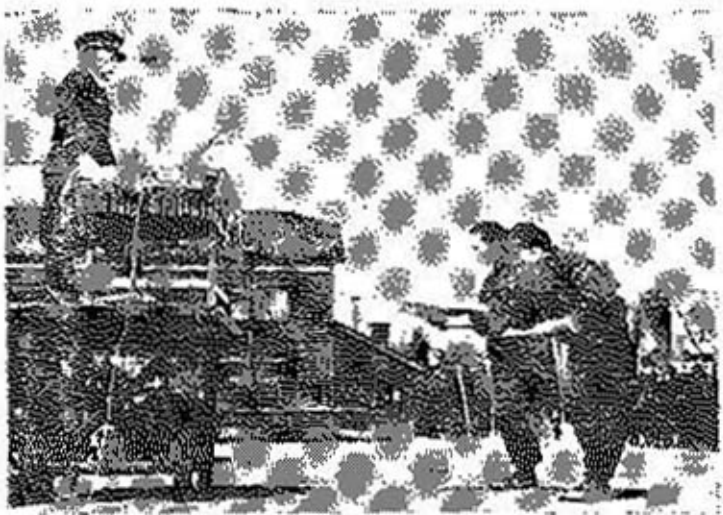
土谷喜兵衛（第二分団部長）ほか三十四名

◆優秀団員の表彰

小田広（常設）ほか十一名

◆感謝状

横倉婦人消防隊



元勝山市防犯隊長 四谷与一
退職された団員

吉田静氏ほか四十名
成器西小学校生徒会
成器南小学校生徒会
瀬羽町子供会

命の続く限り毎月五千円づつ

奨学資金を寄付される

中後の 島田竹次郎さん



去る四月二十四日、市内中後の島田竹次郎さん（七才）は山内市長に、「市民のなかから優秀な人材を養成するため毎月五千円奨学資金に寄付したい」と申出、市長始め関係者に深く感謝されています。

島田さんは四十年以来、新聞販売業を営んで現在に至つておりますが、なか／＼奇特な方で昨年も歳末助け合い運動に大金五万円をおくられるなど数々の美事がござります。

そして申出られると同時に島田さんは四月分として金二万円を市教育委員会へ持つて来られました。

市民から優秀な人材を養成することについては、山内市長もかねてから考えており、既に皆さん御承知のように一昨年、全国でも珍しい「勝山市奨学資金」を特別事業として設け、本年も十六万八千円を計上して大学生三名、高校生

野向小中学校生徒会
鹿谷小中学校生徒会
伊知地子供会
寺尾女子子供会

消防協力者として
有田与八郎氏（野向）
前川 太助氏（荒土）
方便 繁蔵氏（北郷）

◆五十年以上無火災部落表彰
鹿谷町杉俣区

二名がこの恩典に浴びています。島田さんの拠金は、この資金のなかへ繰入れられ、やがては美しくりつばな花が咲いて島田さんの御希望の實がなることでしょう。

自衛官募集中

六月十日まで受付

防衛庁では本年度の陸・海・空の自衛官を次の要領で募集いたします。から御希望の方はなるべく早目に出願の手続きをすませて下さい。

◆応募資格

六月一日現在で満十八才以上、二十五才未満の男子

◆受付期間

四月一日から六月十日まで

◆志願手続

市役所総務課、又は各出張所から志願書を受取り所要事項を記入して同所へ右の受付期間中に提出して下さい。

◆試験

五月六日から七月十三日までの間に小浜、福井の両市で簡単な筆記試験（国語、社会、数学）口述試験及び身体検査が行われます。

◆その他

くわしいことは市役所総務課（電話一番へ）お問合せ下さい。

農家の「公休日」をつくる

旧猪野瀬で

春風に乘つて掛うん機のエンジンも軽快な音を轟かせて今日も、のどかな田舎風景を画いている。ところは勝山市の東端、猪野口の田圃で通り合せたのであろう他所の者らしい人と……

「ある日の対話」

どこの田圃を眺めても人の居ない田はないね……いやはやは、うらんとこの部落の申し合せで明日は公休日ですその分もやつとかなあけへんで……その隣にせつせと働いていた主婦らしい人も純白の布でつゝんだ顔をほころばせて子供の洗濯物もどつさり溜つてゐし、それに久振りに子供の話、遊び相手にもなつてやりたいしこんな事を思ふと何んとなく、あしたの公休日の楽しみが湧いて、ひとりでに仕事も精が出んす……と婦人の方が希望に羨らして楽しそ

公民館の窓から

うに話していた。勝山市の一角、若猪野公民館の掲唱で四月から月一回公休日を設けて今年も増産に拍車をかけているのである。

最初は反対意見もでた「別に公休日設けなくても農繁期を除いて小雨の日は休んでゐるし、外に半夏生とかその他の休日があるから適当に休んでゐる」というのである。なる程、だが果してその日は皆が休んでゐるだろうか？ 雨の日は休んでなく野良着を着たまゝ雨の止むまで待機してゐるのであつて、又休日と言つても田や畑に人が見えるではないか、自分さねの個人主義は昔のことだ、新農村建設が叫ばれてゐる今日、いままゝでの農業経営で良いだろ、か一月一回の公休日はク休みク遊ぶクを奨励するのでわなく、この日

にこそ内に外に頭の中にもやした事をゆつくり整理するのである。第一に婦人の身と心の休養であつて私々だけの時間を有効に生かしたい、午前中は家族の身のまわりの始末、午後は自由時間という風に、又部落集合を開き話し合ふとか連絡事項の趣旨徹底等も出来るだろうし、要するに明るい住みよい部落づくりの糸口となつてゆくのではなからうか……。だからだら農家から計画経営に切り替へるつまり頭の切り替えである。今日の農業は物凄く進歩をみて田圃にエンジン付きの機械がデンとしてゐるではないか、農家は商店の様に休んでも稲や野菜はすくすく成長してくれる恩恵？がある。月一回休んだことに依つて秋の

取入れは減収するであらうか……とに角勝山町の一角、猪野口、若猪野、毛原、高島、猪野、群川、片瀬の農家では毎月公休日を実行している。良い事は知りながらも実行出来ないという事は自分のみをおもひにも考えすぎるからだ自分自身の自分の自分であること知りお互に理解し協同し合つてこそ良い事が知らぬ間に出来て自分が幸福をつくつてゆくものである。市の農家の皆さん公休日は如何でしょう、本年も農作であるように祈りつゝ……。

笠川 寛

高校通信教育

三十四名を迎えて

「いよいよ開講」

勝山公民館では、かねてから高

校通信教育受講生を募つておりましたが、このほど三十四名(男十一名、女二十三名)の応募者がありましたので早速次の要領によつて、いよいよ開講することになりました。

◆会場 勝山中学校

◆科目及び講師

国語(勝中 笠松小石先生) 以下敬称略。

英語(精華高、小林敬三)

社会(勝高 上坂一三)

保健体育(精華 奥下晃二、勝中 中今井三恵子)

書道(勝高 稲村行雄、勝中 崎崎)

図画(勝中、古川章)

音楽(勝高 竹部至朗)

被服(勝高 斎藤信子、岡山田 英子)

調理(勝高中山千鶴子)

◆開講式

勝山中学校で五月九日午後七時

◆授業日時

五月十三日(月) 十五日(水)

より隔週おきに、月及び水のみ行います。第一時限は午後六時三十分から七時二十分まで、第二時限は七時三十分から八時二十分まで、第三時限は八時三十分から九時二十分まで。

授業時間割は大休月曜日を保健体育、芸能及び家庭等とし、水曜日を国語、英語及び社会としました。いよいよ受講される三十四名の皆さんはどうか最後まで頑張りを抜いて下さい。他まぎれずあせらずにコツコツと。

なお、この広報をごらんになつて新たに決意されクひとつやつてみようとと思われる向学の士がございましたならば、今からでも遅くはないですから勝山公民館でその手続をされるように

おここれはりつばな少年

善行児童として 知事表彰に輝く 藤澤一井君



五月五日、子供の日にある善行児童としてたゞ一人知事から表彰を受けた少年は市内野向町竜谷の藤沢一井君（七）。全君は野向中学校二年生のとき藤沢家の大黒柱たるお父さんが、過つて木から落ちたのがもとで他界され、翌年には隣家からのもらい火で家は全焼、その上お母さんは病弱と、度重なる不幸続きに全く涙の乾くいとまがなかつた位でした。

ます。なお藤沢君は野向中学校在学中にも生徒会長などをやつて大いに母校のためにつくし卒業のときは特別賞を受けられたとのこと。このように、如何なる辛苦にも耐えてあの芽のように根強くすくすくと伸びていく藤沢少年を近所の人は「昭和の二宮金次郎さん」とはめたゝえております。ほんとうに偉い少年です。

藤沢君の前途を祝つて……

市政たより

がしかし、藤沢君は歯をくいしばつて頑張り、一家を背負つて今は田畑一町四反を耕作するかたわら、家庭の事情で高校進学ができなかつたので、「よし、それなら高校の通信教育で」と夜は昼の疲をものともせず勉強に張切つてい

- 四月
- 一日 平泉寺、野向の戸籍、印鑑証明事務を本庁へ統合
- 二日 新農村事業現場確認（鹿谷八ヶ所、北郷三ヶ所、荒土三ヶ所）
- 三日 乳幼児検診
- 七日 市一斉火災予防通聞（十回まで）

花嫁学校を開設しています

お申込みはお早く

高勝

勝山高等学校PTAでは、高校卒、ないしは同等の学力を有する女子を対象に花嫁学校を開くことになりました。

この学校開設のねらいは、花嫁修業は勿論、りつばな勝山市民としての人格をつくらため、勝高の先生方の総動員を願つて行うものであります。

この花嫁学校の眞先生はクダ立つた日が吉日、すぐ入学して幸福の青い小鳥をとらえて下さいと優しく深い愛情をもつて皆さんをこまねいておられます。

では花嫁学校の授業内容と時間割をお知らせ致しますよう。

上	金	木	水	火	月	1	2	3	4	5	6	午	後
調理	和裁	和裁	手芸	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	前	
調理	和裁	和裁	手芸	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	午	
調理	和裁	和裁	手芸	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	後	
調理	和裁	和裁	手芸	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁	洋裁		

始業八時三十分～三時三十分
受講料は月 八百五十円です

全国交通安全運動

- 小さい子供さんを道路で遊ばさないように
- 商品や商店の日よけなどを制限以外に道路に出さないように
- 道路の右側通行を励行しよう
- 農繁期ですがドロボウにスキを与えぬように
- 小さい子供さんの火遊び水遊びに気をつけよう

農繁期の防犯運動

- 八日 道路愛護運動実施打合せ
- 九日 市園芸出荷協会理事会
市土地改良協議会総会
青年学級開講式（野向、平泉寺）
- 十日 青年学級指導者講習会本年度固定資産税第一期分合書発令
- 十一日 市養蚕農業協同組合総会
春の消防演習
- 十二日 市議会全員協議会（市庁舎建設委員の選出ほか）
- 十三日 固定資産評価審査委員会
夏播甘藍栽培講習会（選羽）
- 十六日 養蚕期保育所開設に関する打合せ
美濃早生大根及び甘藍栽培講習会（芳野原）
- 十九日 戸籍事務指導研究会
二十日 定期種痘
二十三日 全市区長会総会
スキー客誘致反省会
二十四日 消化器系伝染病患者及家族の検便（二八〇名）
- 二十五日 病害虫防除員研究会
松茸栽培講習会
- 二十六日 当市において催される下七市対抗職員体育大会協議会
- 三十日 勝山地区民生委員協議会（児童福祉週間行事について）